

## ◆参加者アンケートから 久邇先生との思い出の曲 編

K.T オペラ曲集、島よ、マイ・ウェイ

N.H ブラムス『運命の歌』のラスト

畑中良輔先生が『運命の歌』ならピアノは久邇ちゃんだと仰るとおり、久邇先生のピアノはすごい。特に『運命の歌』の最後1ページをブラームスはびあのに委ねた。その演奏は本番でしか聴かせて頂けなかったが。

M.K 水のいのち

OB合唱団3rdコンサートで畑中先生の指揮。畑中バージョンで終曲「海よ」からアツカで最初の「雨」に戻るのが、その「雨」出だしのピアノが実に美しかったです。

T.F ブラムス/運命の歌

K.T 白い世界、風のうた、島よ、

先生がプロになられて最初の学生指揮者の曲「白い世界」。ご自宅で一緒に練習をしないと招かれた。ピアノの前で、団員が前にいるつもりで棒を振った。初めて数分、最初の部分だけで「分かった、もういいや。」だった。先生の期待は、メロディーを歌いながら合唱曲を表現することで、棒を振ることではないと気づき、恥ずかしい思いがした。

M.I 蔵王

高校以来初めてアカデミーで歌いました。

A.Y 島よ マイウェイ 黒人霊歌(Sametime I Feel like a Matherless Child)

具体的な曲ではないのですが、ピアノの前奏や間奏での先生の集中力=息吹(空手の精神統一と同じ)には驚きました。絶対に客席にも聞こえていたはずですね。

H.S ミゼリコルディアスドミニ モーツァルト

全日本合唱コンクールの全国大会で、極限のなか金賞に輝いた時の完璧なまでの伴奏が今も鮮明に思い出されます。

T.K My Way

定期演奏会や演奏旅行などで、最後に必ず歌う曲ですし、作詞に感動しています。

I.Y 光る砂漠

[光る砂漠](秋の午後)(ふるさと)は一年生時のコンクール自由曲。(ふるさと)で、先生の演奏される美しい間奏部分に聴き入り、気持ちが高まり、歌う側の心が一つになるような感覚にぞくぞくとした。曲はピアノ伴奏を含めて完成するのだなあと思った。4年間合唱を続けて行きたいと思った曲です。

N.M 蔵王讃歌

夏合宿のテーマソング。清々しい山の空気を吸って、朝から晩まで諸先生によるご指導のもと練習漬けの毎日は充実した時間でした。

M.E 心の四季、帆をあげよ高く

アーリー合同練習、小久保先生、信長先生、久邇先生のレッスンでした。大病後の久邇先生、あまり体調が良くないご様子、しかし、作曲者、信長先生の曲に対する思いをあらゆる方向から質問され、伴奏したいという久邇先生の御姿。感動しました。

T.T 島よ

「島よ」平成30年6月のアーリーでやった曲です。25年も合唱ができなかった私が徐々に復帰できたときの曲で、それが先生とは最後のステージとなりました。運命が間に合わせてくれた時の思い出の曲です。

K.T マーラーの「さすらう若人の歌」

ウィーンに留学されてドイツ語も堪能な先生が熱心に発音指導をしてくださいました。その際、Wの発音だったか？唇を尖らせるのに、口の周りの筋肉を先生が「括約筋」と仰ったのに「口輪筋です」と返したのは私です。

K.K The Rain In Spain(マイフェアレディより)

3年生の時の定期演奏会(1984年)で、The Rain in Spainのソロを久邇先生の伴奏で歌ったのを昨日の事のように覚えています。

H.M 愛唱曲集、オペラ合唱曲集、ふるさとの四季、光る砂漠、メリーポピンズetc.

W.Y G.A.ロッシーニ I Gondolieri La Passegiata

2年の演旅、3年6連、アーリー、ヨーロッパと歌った曲、先生も留学から戻ってすぐの頃、ピアノのパートも多く、軽快リズムが忘れない思い出の曲

W.Y 月下の一群

3年定演 団員の声で陽ちゃんに混声編曲をお願いしてた思い出の曲、当時混声初演が話題になった。輪踊り、信じるな、海よ、秋の歌どれも久邇先生のピアノが心に残る。陽ちゃんのやっぱり男声だなのオチもあった。